



大安寺護寺会だより

平成二十五年一月六日発行第九号

発行責任者

大安寺護寺会理事長

北村 耕一

當山四世重興 德應香積大和尚 品位

とうざんしせ とくおうこうしゃくだいおしょう
當山四世 德應香積大和尚 木像

新春のご挨拶



大安寺護寺会 会長

大安寺住職 押見 俊哉

西暦二〇一三（邦暦平成二五年癸巳）年頭新春を迎え、謹んで大安寺檀信徒の皆様のご清福と万福多幸をご祈念申し上げます。

檀信徒の皆様には、日頃より菩提寺であります大安寺の護寺の為に、ご理解とご協力を頂いておりますことに、改めて感謝申し上げます。

門松は めいどのたびの一里塚
馬かごもなく とまりやもなし

『一休咄』

この一首は世間には、「門松は冥途の一里塚めでたくもありめでたくもなし」と伝えられています。しかし、元禄十三年に刊行された右記には、下二句が「馬かごもなくとまりやもなし」とあります。この方が作品として優れていて、元歌と思われます。

「いずれの時か、夢のうちにあらざる。いずれの人が、骸骨にあらざるべし」

（人生は、はかないもの、若者も老人も骸骨になるこ

とに変わりはないのだ）

と、一休さんは私たちに、「目をさませ、正月こそ目を開け」と叱りつつ励まして下さっているのです。

一休さんは一休さん流の少々きつい言い回しながら、お正月だからといって浮かれていている私たちに、忘れてはならない大切な心構えを教えて下さいます。

さて、前年は大変な暑い夏でありました。

逆に景気はというと、お寒い限りの年であったように思います。

新年を迎えるにあたっては、誰しもが今年こそは良い年でありますように、と念じますが、他に願うのみではなく、そうする為の努力をすることなしには、良い年はやって来ません。

本年は別紙でのお願いのように、大安寺開創一五〇周年に向けての準備のスタートの年となります。準備の象徴として今の本堂に、新しい本尊さまを平成二八年の先代住職十三回忌に合わせてお迎えする発願を致しました。詳細は別紙趣意書をご参照願いますが、次代の大安寺の信仰の中心となる本尊さまをお迎えすることにご賛同とご協力を切望するものでございます。

本年が皆様にとって素晴らしい年であることを重ねて祈念申し上げます。



涅槃団子



大安寺 僧侶

押見 清純

二月十五日は、「涅槃会」^{ねはんえ}。お釈迦さまがお亡くなりになった日です。涅槃とは、本来は煩惱の無くなった悟りの境地をさしますが、一般にはお釈迦さまの亡くなられたことを意味します。全国のお寺でお釈迦さまの徳をしのぶ法要が行われます。

法要では、涅槃図（お釈迦さまが亡くなられた時の様子を描いた大きな掛け軸）を掛け、お経^{ぎょう}を読みます。この時読まれる「仏遺教^{ぶつゆいきょう}経」というお経は、お釈迦さまが亡くなる直前に弟子たちに説いた最後の説法であったと言われています。

この涅槃会にちなみ、昔からお寺で団子を作る習わしがあります。この団子は、「涅槃団子」と呼ばれています。

涅槃団子は、お米の粉から作ります。いろいろな作り方がありますが、多くの地域では食紅を使つて米の粉を青・黄・赤・白・紫の五色にします。そして、これを丸めて団子にしたり、棒状に伸ばして細かく切ったりします。最後に蒸して出来上がりです。お寺で作つて法要の時に参拝者に配ります。お寺では法要の時に、涅槃団子を涅槃図の前にお供えます。こうして、お釈迦さまのありがたい功德を涅槃団子に分けてもらうのです。これを食べると無病息災のご利益があり、身に付けると厄除けになると言われています。皆さんも、二月十五日涅槃会のお寺詣りに是非お越し頂きまして、お釈迦さまの徳が宿つた涅槃団子、一度食べてみてください。

恵庭幼稚園 お泊り会

毎年、恵庭幼稚園では大安寺において一泊二日のお泊り会を行なっており、今年は九月十三・十四日に行われました。

一日目の午前中は、お泊まり会の準備。夕食のカレーの下ごしらえにおやつ作り、お寺に行つて布団を敷いてきました。

午後はお楽しみ発表会。劇、楽器、ピアノ、ペープサートのグループに分かれて一生懸命練習してきた成果を発表しました。そして、おやつを食べた後は、ドッジボールとイス取りゲームをして遊びました。

ゲーム大会が終わると、着替えなどの荷物をお寺に運んでお待ちかねの夕食です。メニューはカレーと園庭で取れたきゅうりと枝豆です。

夕食後は、夜のお楽しみ肝試しです。思わず泣き出してしまふ子も。そして、パジャマに着替えて本堂で記念撮影をしました。

寝る前には理事長先生（住職）から物語の読み聞かせを聞き、最後に坐禅をして気持ちを落ち着かせて就寝となりました。

二日目は、六時に起床。ラジオ体操、そして朝食、清掃をして十時にお泊り会は終了となりました。

両祖報恩会

りようそほうおんえ
両祖報恩会お速夜

まんどうろう
万灯供養

九月三日（月）午後六時より大安寺本堂で、両祖報恩会速夜行事が行われました。

大安寺の宗旨である曹洞宗を築かれた道元禅師様・曹洞宗発展の礎を築かれた瑩山禅師様両祖の偉大な恩徳を讃え感謝する法会。蠟燭の灯りで御先祖を供養する大安寺ならではの「万灯供養」を行いました。



りようそほうおんえ
両祖報恩会ご正當

九月四日（火）午前十時から大安寺本堂において、両祖報恩会正當の行事が行われました。

両祖報恩会は、非常に厳粛な有り難い法要です。

大安寺歴代住職の報恩供養と「特別大施食会」でご先祖供養をいたしました。



説教

両祖報恩会の九月三日（月）午後、四日（火）午前の二度、

大本山布教師 長野県茅野市検校庵御住職 鈴木恵道老師 によるお説教を拝聴いたしました。



大本山布教師
鈴木 恵道 老師

地蔵供養祭

七月二十四日（火）午前十一時より大安寺において、地蔵供養祭が行われました。

本堂において観音様への御参りを終え、地蔵堂でお地蔵様へお参りをし皇軍戦没者招魂碑への供養を行いました。



盂蘭盆会

八月十六日（木）午後一時より大安寺本堂において、先祖や亡き人の御霊を迎え、施食会という供養にて、有縁無縁の精霊に供養いたしました。



「灯明と線香のあげ方」

ロウソクを灯すのは単に仏壇を明るくするためだけではなく、ロウソクの火は灯明と呼ばれ、知恵の徳を表しています。

明かりが闇を開くように仏の知恵が迷いの闇を開くことを願うことです。

ロウソクに火を灯したら、その火で線香に火をつけて香炉（線香や抹香を焚くための道具）に立てます。直接マッチで火をつける人もいるようですが、ロウソクから線香に火をつけるのが正しい方法といわれています。マッチの燃えかすなどは香炉に立ててはいけません。

ロウソクや線香の火を消すときは、必ず手やロウソク消しなどの道具を使って消し、決して息を吹きかけて消してはいけません。

神聖な仏壇の前で食べ物の生臭さの混じった息を吹きかけ消すことは無作法だからです。



秋季彼岸会 水子供養

九月秋分の日を中心に一週間を秋彼岸として、先祖供養を行う大切な仏教行事です。

九月二十二日午後一時より大安寺本堂において秋季彼岸会・水子供養が行われました。



釈尊成道会

成道会は、御釈迦様が悟りに入ったことを記念して行なわれる行事です。禅宗では、このお釈迦様の成道した日を十二月八日とし、僧堂では十二月一日から八日の早暁まで、お釈迦様の成道にあやかり、坐禅を続けるという厳しい修行を行なっています。

これを臘八接心ろうはつせっしんといいます。

理事会の活動

○禅を聞く会
十月三十一日 札幌パークホテルで行われた「禅を聞く会」に大安寺理事会 婦人会 梅花講の皆さんが多く参加しました。

講師は（元横綱千代の富士）九重親方でした。

○理事会、施設管理部によつて境内の側溝内の落ち葉の清掃と境内の枝の太木の枯れた枝の伐採作業を終えました。

設備管理部の小玉さん、佐々木さん、三浦さん、危険な作業お疲れ様でした。

○大安寺境内にある物置について、土台が低いため冬の雪が入りやすいため、土台を高くして雪等が物置に入らない様に基礎工事を終了しました。

庵とそば

皆さん、「庵」という言葉を存じでしょうか？
本来は僧侶や尼僧が住する小さな住居を意味する言葉です。しかしながら、皆さんが親しみ慣れている「庵」にはもう一つ「そば屋」というイメージがある事と思います。

実は、そばとお寺、まんざら無関係とも言えない史実があります。

それは、江戸中期頃、現在の東京西浅草に一心山極楽寺という浄土宗のお寺がありました。その中に道光庵と呼ばれる庵がありまして、その庵主が大変そば上手でありました。

当時、江戸のそば汁といえば、鰹だしが普通とされておりましたが、道光庵は仏寺ゆえ、鰹だしは使用せず、精進だしに辛み大根のみと大変シンプルなものでしたが、あまりの美味さにそば目当ての参詣者が押し掛けるようになり、それを目の当たりにした江戸のそば屋が、道光庵の名にあやかり、こぞつて「庵」の屋号を取り入れたそうです。

しかし、まるでお寺かそば屋か分からない境内のあり様を重く見た時の極楽寺住職は、ついには山門に「蕎麦禁断」の石碑をたて、お寺内のそばを禁じてしまいました。

年越しそばを食べながら、うんちくを語ってみてはいかが。



昼食の配膳の様子

婦人会の活動

大安寺の行事のつど婦人会の活動が行われています。いつもながら御苦労様です。これからの活動もよろしくお願いします。



曹洞宗梅花流創立60周年記念
大安寺梅花講
奨励賞3名、年功賞8名が表彰されました

梅花講の活動

梅花講の皆さんはお寺行事へ参加、講習会、研修会への出席、また、お通夜でのご供養を行っています。随時、会員参加者を募集しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

坐禅・写経

大安寺にて、「坐禅のつどい・写経のつどい」を行っています。坐禅は本堂で、写経は大広間で行います。心静かにつどう事も大切です。多くの方のご参加をお待ちしております。

大安寺 永代供養

毎朝のおつとめの折にご尊家ご先祖様のご供養をいたします。

※ お問い合わせ先

大安寺まで

TEL011-331-3411・093

・ 日牌
・ 月牌



我が家の仏壇

私が幼い頃、母は仏壇の前で両の中指に数珠をかけ、手を合わせて「ナムシャカムニブツ」と唱えることを教えてくれた。そして、鈴を二回鳴らして供物をもらったものでした。

妻は幼い娘と仏壇の前にすわり、「ナムナム」と唱えることを教えて、鈴を鳴らして供物をもらう事を教えていました。我が家の仏壇は、子供のおやつ屋さんの様でした。そんな娘が孫を連れて仏壇の前にすわり、「ナムシャカムニブツ」と唱え、鈴を鳴らし、子供に「はい、おやつ」。そんな孫も大きくなると、おやつの場所も変わった様です。

北海道歌旅座 大安寺特別講演 『昭和ノスタルジア』

二月十五日の釈尊涅槃会法要の終了後に、北海道歌旅座の皆様による特別講演『昭和ノスタルジア』が、大安寺本堂にて開催が予定されています。

恵庭出身の歌手ジュンコさんら八人のメンバーが、昭和の懐かしい歌を披露してくれます。北海道歌旅座の皆さんは、北海道を拠点に全国で公演活動を行っている団体です。

当日の涅槃会法要は、午前十一時からの開始となり、昼食をはさんで午後一時に開場、一時半より

公演となります。

公演の前売チケットは千円、当日券は千五百円となっております。大安寺にて販売しております。

檀信徒の皆様、一般の方も参加可能ですので、涅槃会法要に参詣され公演にご参加されて楽しいひと時を過ごしませんか。多くのご参加をお待ちしております。

方丈さま、ラジオ出演

HBCラジオの『曹洞宗の時間』（毎週土曜朝6:15〜20）に大安寺の方丈さまが出演されて法話をされます。日時は一月十九日（土）朝6:15からの五分間です。どうぞ、お聞き逃しの無いようにお楽しみにご予定下さい。

『檀信徒經典集』改訂版発行

檀信徒の各家には大安寺で作成した『檀信徒經典集』を平成十八年に一冊ずつ配布させて頂き、日頃よりご使用頂いております。

この度、在庫が全て無くなったことに伴い、改訂版が出来上がりました。内容で改訂版が仕上がり、大安寺檀信徒必携の内容となっております。

頒布価格は、一冊千五百円です。ご希望の方は、お寺の法要時に受付にてお買い求め頂くか、お寺までお申し付け下さい。

北海道歌旅座 PRESENTS

昭和ノスタルジア

＜ステレオ＞ ★ コンサート ★ 総天然色

ニッポンが輝いていたあの頃、誰もが口ずさんだあの歌...。昭和ヒットパレードが、やってくる!!

上を向いて歩こう ナオミの夢 ゴンドラの唄
青い山脈 岬めぐり
また逢う日まで 友よ
銀色の道 愛は傷つきやすく
テネシーワルツ 学生時代
明日があるさ 恋の季節
落陽 逃避行 蘇州夜曲
花嫁 ハチのムサシは死んだのさ
太陽がくれた季節 北国行きで
愛の奇跡 青春時代
君をのせて 各駅停車
恋人よ 涙をこえて
人形の家 愛と風のように
いちご白書をもう一度 なごり雪
胸の振り子 時代

大安寺 釈尊涅槃会法要 特別公演

2013年(平成25年) 法要11:00 開場13:00 開演13:30

2月15日 金 恵庭市 大町4丁目2-25 大安寺 本堂

入場料 前¥1000 当¥1500 中学生以下無料

チケット取扱い お問い合わせ
大安寺...0123-34-1093 北海道歌旅座...011-623-6680

